

北海道中川町 横断歩道橋長寿命化修繕計画



令和7年2月策定

(2). 長寿命化修繕計画の対象橋梁

中川町が管理する 横断歩道橋 1 橋を対象に計画を策定しました。

(3). 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的な方針

橋梁点検マニュアルに基づく専門家による橋梁点検を令和4年度、令和6年度に実施し、健全度を把握しました。今後も点検を5年以内に一度実施し、健全度の把握に努めます。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

横断歩道橋としての機能を良好に維持するために、巡視(定期パトロール・緊急パトロール)や清掃等の日常的な維持管理に努めます。

(4). 対象歩道橋の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

- ・予防保全型管理の実施により、大規模な修繕や更新に至る前の損傷が軽微な段階で対策を講じることにより、施設の長寿命化・トータルコストの縮減を図ります。
- ・点検による損傷評価とともに総合的に勘案し、効率的な管理を実現します。
- ・詳細点検結果に基づく構造物の健全度把握及び損傷状況に応じて横断歩道橋長寿命化修繕計画を見直します。
- ・横断歩道橋の点検・診断結果は、下記によります。

構造物の緒元						
橋梁名	路線名	架設年	橋長	幅員	種類	所在地
跨線人道橋	南団地線	1983	26.6	2.0	鋼橋	中川
直近における点検結果及び次回点検		対策内容	対策の着手・完了年度		対策に係る概算事業費	
点検結果		次回点検年度	補修内容	着手年度	完了年度	補修費用(百万円)
年度	判定区分	R11	塗装塗替 防護柵取替	R7	R8	43.1
R6	Ⅲ					

2. 新技術等の活用方針

従来技術と新技術を比較検討し、有効なものは積極的に活用していくことで、従来技術から新技術へと「技術の転換」を図り、定期点検の効率化や高度化、修繕費用の縮減を目指します。



3. 費用縮減に関する具体的な方針

1) 今後の老朽化対策に必要となる費用の縮減

- ・新技術を活用し、定期点検におけるコスト縮減を図ります。
- ・予防保全型の補修を実施し、維持管理に係るコストを縮減するとともに、予算の平準化を図ります。
- ・修繕工事において、NETIS登録技術を活用し、工事を効率化することで工期の短縮等によるコストの縮減を図ります。

2) 集約・撤去、機能縮小などによる費用の縮減

- ・劣化・損傷度合や利用状況・社会情勢の変化、施設周辺の道路整備状況により、町道路線の統廃合が可能となる場合は、当該横断歩道橋と橋梁を総合的に勘案した集約・撤去を進めコストの縮減を図ります。
- ・大規模改修や更新（架替）が必要となった場合は、機能縮小も検討しコスト縮減を図ります。

§ 2. 短期的な数値目標及びそのコスト縮減効果

1. 集約化・撤去に関する短期的な数値目標

集約化・撤去に該当する施設はありません。

2. 新技術等の活用に関する短期的な数値目標

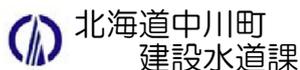
2030年（令和12年）までに定期点検を実施する際に、損傷確認で費用の縮減や点検の効率化等の効果が見込まれる新技術（あるいは新技術に類する技術）を活用し20万円のコスト縮減を目指します。



3. 費用縮減に関する短期的な数値目標

2030年（令和12年）までに、前回点検において従来技術による点検を実施した項目のうち、新技術（あるいは新技術に類する技術）を活用した点検を実施し20万円のコスト縮減を目指します。

計画策定担当部署



TEL 01656 - 7 - 2815